

小頭岳

平成23年12月13日(火)
新合地区振興会
振興会便り
文責:佐々木 元
NO. 22

交通安全を推進しよう!!

道路での斜め横断はゼツタイやめましょう!

がんばってます⑭

俳句を始め半世紀、花鳥風月を俳句で楽しむ!

上津留区と松中・養田五百枝(イオエ)さん(87歳)

養田五百枝さん 87歳。二十歳代は小学校の教員や役場等に勤務されていたが、家族の世話を為る為に農業に専念される。農業の傍ら婦人会長等地区の指導的な役割も果たされながら、着物の着付けや華道にも精進され長年女性のリーダーの一員としても活躍された。

高齢になって最後に残ったのが家庭菜園と俳句だという。俳句との出会いは、二十歳代から愛読していた月刊誌「婦人生活」の文化欄に掲載されていた俳壇を読むようになってからという。毎月読んでいるうちに興味関心が高まり自分でも投稿してみようかと軽い気持ちで二句作り投稿したのが32歳の時。まさかそれが当選し「婦人生活」に掲載されるとは思ってもみなかったという。その頃の選者は、かの有名な中村汀女さん。

『刈りに来(き)し れんげの今朝は長しと思う』

『鶯(ひよ)鳴きて 帰り支度や島の畑(はた)』

これが励みとなり俳句作りがこんなに簡単ならば自分も作り続けられるのではないかという思いがしたという。(短歌もしばらく詠んでいたがすぐに俳句一つに絞られた。)

もう一つの出会いは当時新合小学校の酒井八郎校長先生(先生は天草文化協会から文化活動の功績で受賞)に俳句作りをすすめられた事が力になったとのこと。それ以来、今日まで半世紀以上(55年間)も俳句を作り続けられている。現在は「天草ほととぎす」「馬刀(まて)俳句の会」「水葱(なぎ)結社」の三つの句会に加入し活動しておられる。三つの句会合わせて毎月25句を作って出さなければならないと聞いて「平均毎日1句は作らなければならないので大変ですね。」と言うと「一日一句作っている間は間に合いません。一日数句は作りその中から気に入ったものを選んで出しています。」との返事。「それだけ作るには句材集めや句作りに大変苦があるのではないか?」と尋ねると「何の苦労もありません。楽しいばかりです。」とこともなげに話された。その意欲・情熱・感性の豊かさにはただ感服するのみであった。気に入った句を紹介してもらった。

『遠き日の乱の川澄み殉教祭』『一言に心ほぐれし春隣り』(水葱賞の一つ)



句材集めで小学校へ

新合で俳句や和歌、川柳をされている方は田中義人さん、本多清英さん、櫻田京子さんらがおられる。

交通安全の願いを込めて

311人が集まり交通安全推進大会

新合地区振興会では交通事故防止に力を入れてきましたが、新合地区の国道266号線沿いを中心に過去10年間だけでも10名以上の交通死亡事故が発生し、交通事故が絶えません。私たちは、そのたびに深い悲しみと交通事故への不安や心配が募るばかりです。そこで、交通事故を抑制し、安全・安心のまちづくりを推進するために新合地区あげての交通安全推進大会を計画し、11月22日(日)に実施しました。当日は寒い朝に、また、市平での秋の例大祭等、多くの行事が重なる中での実施でしたが、参加予定200名(住民の約30%)を111名も超える311名(約41%)の参加がありその関心の高さを示していました。参加者を見ると小学校の先生方、保育所の先生方保育園児、小・中・高校生、若い成人、高齢者等々すべての年齢層の参加がみられました。まさに住民総力あげての交通安全推進大会となりました。

— 実践的・体験的な内容で充実 —

今回の推進大会は、牛深警察署と話し合い、講話でなく、すぐに役立つ実践的・体験的な内容にしました。新合小学校のグラウンドで2トン、4トントラック、乗用車を使い死角の説明も(自動車学校の校長先生の演技もあり)実際、乗ったり、歩いたり、見たりしながらの納得できるすぐ役立つ内容でした。牛深警察署交通係の船元さんの「くまモン」を使ったユーモアある説明や指導は保育園児から大人まで楽しく、理解しやすいもので「分かりやすかった。」との感想が多く寄せられました。また、住民から今日の大会で「警察がより一層身近に感じられた。」との感想も多く警察への信頼を一層深めることにもなりました。

— これからの課題 —

住民の交通安全に対する意識と実践的な理解も深まってきましたが、今まで身に付いた習慣を一気に変える事の難しさも感じています。

これからの課題として

- 1、「小頭岳」No.20で紹介した役員会の<交通事故防止対策>の内容の実現。
- 2、住民の交通安全に対する精神的な高揚と具体的な実践(歩行者、運転者)
- 3、警察等と継続的な交通安全教室等の実施(地域総合学習の会・自治公民館・学校・保育園・老人会等)
- 4、他地域との連携と啓発活動(町内・郡内)

— 感謝 —

交通安全推進委員会を実施するにあたり多くの方々にお世話になりました。感謝とお礼を申し上げます。市議会議員 池田 裕之 様、天草市役所支所長 久保 滋 様、牛深警察署牛深自動車学校等たくさんのご協力をいただきました。



長寿の秘訣

- ◎ くよくよしない。
- ◎ なんでもよく食べる。
- ◎ 80歳すぎまでゲートボールをし、最近はずっと家庭菜園を楽しむ体を動かしている。
- ◎ テレビなどの歌を聴いて楽しんでいる。

大塚多恵子さん(上松中地区)93歳に聞きました。

駐在所の復活を願って

～署名と一緒に県警に陳情～

先の臨時役員会の決定を受け、新合地区住民は交通事故や犯罪等の無い安全・安心なまちづくりを強く願っており、それを推進するため住民の最大の願いである駐在所の設置(復活)を署名をそえ県警に陳情しました。

- ・ 10月24日(月)牛深警察署長に陳情書を提出し、新合地区住民の願いを伝える(4名参加)
- ・ 11月8日(火)署名完了、署名514人で(成人81.8%)(世帯数ではほぼ100%)
- ・ 11月16日(水)牛深警察署長へ署名(コピー)を提出し再度住民の願いを伝える。「地元警察の意向が大もとのなる。」と署長さんに再三お願いする。「決定権は無いので県警本部にしっかり伝える。」との回答。
- ・ 11月22日(火)熊本県警本部に署名514人分を添え陳情書を提出。県警地域課長他3名陳情書の趣旨を十分説明し7名全員がそれぞれ住民の総意を心を込めて伝えお願いをした。県警としては住民の願いは十分わかった。関係者で協議しますとの回答。

《参加者》 池田和貴県議・池田裕之市議・佐々木元・武内正俊 小林久人・吉田富義・浦崎和義

○池田県議、池田市議には県警とのアポ等で大変お世話になりました。



地域の眠った資源を活かせ!!

地域おこし部会加工品グループ「先進地視察」

地域おこし部会加工品グループ(内田由利子G長他9名)では、ふるさと宅配便事業に続く第2弾として「地域にある食材を使った加工品作り」を計画し、来る12月6日、加工品作りでは先進地である本渡の下浦地区にある「オレンジハウス」と新和町中田の新和農畜産物加工所を視察してきました。両地区とも早くから加工品に取り組んで大臣表彰等の実績もあり、漬物のほかお惣菜、おまんじゅうなど幅広く取り扱っていらっしゃいました。また、参加者からのいろいろな質問にも快く答えていただき有意義な研修が出来ました。



《お知らせ》

- 12月15日(木)健康教室7時半～ (新合公民館)
- 12月19日(月)保育園児との交流会10時(新合保育所)
- 1月1日(日)元日登山 6時(津留神社集合)
- 1月1日(日)新年祝賀式 11時(新合公民館)
- 1月2日(月)新合地区成人講座 10時(新合公民館)
- 1月8日(日)天草市消防出初式(河浦総合運動場)
- 1月15日(日)河浦町駅伝大会 9時スタート (富津→宮野河内)